

## ○ 第四次葉山町総合計画前期基本計画(案)「基本理念2 “暮らしを守る”葉山」及び「基本理念3 “街が躍動する”葉山」に関する総合計画審議会(平成26年9月19日開催)の主な意見について

NO	頁	基本施策	項目	主な意見
1	50~55	災害に強いまちづくりの推進 防犯・交通安全対策の推進 各種相談体制の確立	基本方針 単位施策	基本目標として「だれもが…」と謳っているからには、町民だけでなく海水浴や観光等で葉山を訪れる人を対象とした視点での配慮も必要ではないか(特に、防犯、防災等では町民だけの視点になっている)。
2	50・51	災害に強いまちづくりの推進	現状と課題 基本方針 単位施策	災害を防ぐことだけでなく、速やかに住民の生活を復旧、復興するという視点も大切。そのために、災害廃棄物の処理や地籍調査(境界査定)等への取り組みについての示唆があってもいいのではないかと。
3	50・51	災害に強いまちづくりの推進	現状と課題 単位施策	基本目標に対して、現状と課題、具体的な取り組みの内容が弱い。「災害廃棄物処理体制の整備」「避難場所の見直しと防災資機材や食糧の備蓄」「ライフラインの確保」「耐震補強工事の充実」「放射性物質への対応」「産地対策」といった第三次総合計画にある記述は、第四次にも入れるべきではないかと。また、近年、各地で発生している「土砂災害対策」についても住民意識の備えとして町としての取り組みも必要に思う。
4	50・51	災害に強いまちづくりの推進	まちづくり指標 現状と課題 単位施策	町として、また県と町との連携事業として、原子力災害に対する危機管理、産地対策の整備推進への取り組みを記述してはどうか。
5	51	災害に強いまちづくりの推進	単位施策	町内に傾斜地は多く、昔の文献を拾えば過去の災害歴や言い伝えなどの資料はある。開発業者や土地購入者、住民がそのことを調べるようなことはしないので、行政がしっかり調査し情報提供していくことが災害防止につながるのではないかと。
6	51	災害に強いまちづくりの推進	単位施策	崖崩れ、土砂災害の危険地域は住宅地の周辺以外にもあり、そういった場所で山登りをする人などへの対応も必要なのではないかと。
7	51	災害に強いまちづくりの推進	単位施策 協働でできること	町民各自の自主的な努力として最低1日分くらいの水や食料を確保しておくような取り組みを加えるべきではないかと。
8	58~71	基本目標7 (都市基盤)	現状と課題 基本方針	基本目標7の一部で都市計画マスタープランとの関連に触れられているが、実際には公園や水辺環境の整備等、目標全体がマスタープランに関わる。プランの達成度を明示するなど、総合計画とマスタープランとの整合性、言及の均一性を図るべきではないかと。
9	58・59	地域特性を生かした まちづくりの推進	現状と課題 単位施策	里山が荒れており、景観を損ねているばかりか、土砂災害等の危険もある。所有者が一人で整備が行き届かないような山について、町としての取り組みを示してほしい。
10	58・65	基本目標7 (都市基盤)	現状と課題 基本方針	総合計画と都市計画マスタープランは連携して進めるものだが、上位にある総合計画では、細部についてマスタープランに拠らないこともある。マスタープランに触れた記述について、P58「現状と課題」はこのままでいいが、P65「基本方針」では「平成28年…基つき、」の部分は削除すべき。
11	58~71	基本目標7 (都市基盤)	単位施策	他のパートと比較して内容が抽象的で、書きぶりが弱い、もう少し具体的に書くべきではないかと。
12	60・61	魅力ある公園の創出	現状と課題 単位施策	一人あたりの公園整備量は高い水準だが、子どもの遊び場や高齢者がくつろげる場所は少ない。ワーキンググループの意見書にある「幼・小・老を一体化した形の公園整備」という課題を計画書に取り入れれば、「魅力ある公園の創出」という取り組みが生きてくるはず。
13	60・62	魅力ある公園の創出 水辺環境の整備促進	まちづくり指標	満足度のほかに、指標とするものがないかと、検討してほしい。
14	62・66	水辺環境の整備促進 安全で快適な町道の確保	まちづくり指標	現状値よりは高いものの、指標のめざそう値が30%にとどめている意図が分からない。
15	63	水辺環境の整備促進	単位施策	「自然素材を活用した親水護岸」というと、人が親しむというより生物に優しいというイメージ。「親水階段」「親水公園」といった施設名や整備数を記すなど、より具体的に示してほしい。
16	64・65	計画的な幹線道路の整備	現状と課題 単位施策	県道の歩道の段差は視覚障害者にとっては必要なものであり、利用者同士で複雑な利害関係がある。これに関しては交通弱者への支援というテーマで別項を設けるなど、検討を要する。
17	64・65	計画的な幹線道路の整備	現状と課題 単位施策	県道の歩道をバリアフリーにするといった、町の管轄外となる整備要望等についても、町が町民の意見を集約して県に申し入れを行うなど、一定のプロセスを構築する必要があるのではないかと。
18	65・69・71	計画的な幹線道路の整備 適切な橋りょうの維持管理 公共交通の環境整備	協働でできること	町の施策に協力するために町民がいるのではなく、町民のために町の施策があるという視点で書き改めるべき。
19	66・67	安全で快適な町道の確保	現状と課題 単位施策	苔むす石垣で作られた生活道路のように、町道にも「葉山の小径」と表現されるような誇るべき財産となる「葉山らしさ」がある。安全性、快適性を追求したハード整備一辺倒でなく、「らしさ」を取り込んでいくような書きぶりにしてほしい。
20	66・67	安全で快適な町道の確保	現状と課題 単位施策	P75「基本施策31 観光の振興」の具体的な取り組みに「…などの観光資源を徒歩・自転車などで楽しく回遊できるようなくみづくり…」とあるが、現状としてそのような道路環境にない。観光資源としてだけでなく町民のための施策として、「基本施策27 安全で快適な町道の確保」のあたりに現状と課題、具体的な取り組みについて書き込むべき。
21	70・71	公共交通の環境整備	現状と課題 単位施策	起伏の多い土地柄とはいえ、現代において重要な交通手段であり、健康増進にもつながる自転車についての記述が全くないのは不自然。利用しやすい道づくり等、関連事項を盛り込んでほしい。

22	70・71	公共交通の環境整備	現状と課題 単位施策	高齢化が進む一色台などでは、公共交通が入っておらず困っている。京急に直談判するなど、町が福祉施策として、そういった地区への交通網整備に積極的に取り組むべき。
23	70・71	公共交通の環境整備	現状と課題 単位施策	自転車を有効利用するため、公共施設等の駐輪場整備を進めらうとともに、通勤・通学のため自転車で逗子駅へアクセスする町民のために、駐輪場利用料を補助してほしい。
24	70・71	公共交通の環境整備	現状と課題 単位施策	自宅から最寄りのバス停まで徒歩で10～20分かかる町民の利便性を高めてほしい。
25	71	公共交通の環境整備	単位施策	他自治体の例などを参考に、「バス路線の充実」についてももう少し書き込んでほしい。
26	72・73	農業・水産業・商業の振興と連携の促進	現状と課題 単位施策	葉山牛の知名度が上がってきているにもかかわらず、出荷量が少なく、販売登録加盟店への入荷も不安定な状況になっている。また、葉山の野菜もブランド化する価値がある。葉山ブランドの育成・維持について、より具体的に書き込む必要がある。
27	72～75	農業・水産業・商業の振興と連携の促進 観光の振興	現状と課題 単位施策	産業振興も観光の振興も税収を増やすことが目的なので、「葉山ブランド」という言葉をうまく活かすなどして、いかに利益を上げるかという意識をもって検討してほしい。
28	72～75	農業・水産業・商業の振興と連携の促進 観光の振興	現状と課題 単位施策	今後の町の歳入について、住民税、固定資産税だけでやっていくのは心もとない。観光でもうけてやろうという、そういうパワーが必要。
29	74・75	観光の振興	現状と課題 単位施策	山に遊びにくる人たちへの対応も視野に入れる必要があるのではないかと。最近では登山だけでなく、マラソンや自転車等、健康維持やトレーニング目的の入山も増えている。観光客のゴミの問題も含めて検討していくべき。
30	74・75	観光の振興	現状と課題 単位施策	観光地として大々的に集客したいのか、町民が静かに暮らす町にしたいのか、どっちつかずであまい、本格的に集客を目指すのであれば、駐車場やトイレ、ゴミ処理、商業施設等について具体的に検討する必要がある。
31	74・75	観光の振興	現状と課題 単位施策	最近、スポーツタイプの自転車を趣味とする人にとって三浦半島は魅力的な場所らしいが、観光振興の中では、自転車を積載して来る車の駐車スペースや歩行者との安全な共存等へも配慮する必要がある。
32	74・75	観光の振興	現状と課題 単位施策	観光の振興を商業振興にしっかりつなげるための取り組みを書き込むべき。また、「葉山芸術祭」「ツール・ド・三浦半島」「HAYAMANトライアスロン」など、葉山で誇るべきイベントへの支援も、行政主体ではなく住民力を活用する「協働」として書き込んだほうがいい。さらに、魚貝類の多様さで大きな注目を集めている葉山の海も絶対にPRするべき。
33	74・75	観光の振興	現状と課題 単位施策	町は本当に観光振興をやる気があるのか。他市町では商工会のイベントに対する補助金が2桁くらい違う。行政が本気にならないと観光では食べていけない。
34	74・75	観光の振興	単位施策	ごみの問題については、散らし配布等でマナーとして訴えるだけでなく、例えば、土産の購入と引き換えにごみを置いていけるといような方策を、協働の中で検討していければいい。
35	74・75	観光の振興	単位施策	観光地化を本気で目指すなら、観光客向けのごみ捨て場があったほうがいい。ごみの持ち帰りを求めるより、マナーの向上を図るほうが現実的ではないか。
36	74・75	観光の振興	単位施策	不法投棄というのは犯罪。取り締まるのは警察で町の仕事ではない。もちろんマナーに訴える施策も、協働として考える必要はある。